



橋本雅邦《蓬萊朝陽》1903年 佐野市立吉澤記念美術館蔵

日本美術院の

作家たち

橋本雅邦・横山大観・菱田春草 |

2023

9 / 16 Sat | 10 / 29 Sun

〔開館時間〕 午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで

〔入館はいつでも閉館30分前まで〕

〔休館日〕 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

*会期中の休館日 / 9月19日・25日、10月2日・10日・16日・23日

〔観覧料〕 一般500(400)円・大高生300(250)円

*○内は、20名以上の団体割引料金

*インターネット割引券ご提示で2名様まで団体割引料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、

および付き添いの方1名は無料。受付で手帳もしくは障害者手帳アプリ

「マイQRID」をご提示ください。

*65歳以上の方、中学生以下は無料。

受付で身分証明書(マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等)をご提示ください。

*10月28日(土)は群馬県民の日につき、観覧料は無料です。

〔主催・会場〕

高崎市タワー美術館 〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23

TEL 027-3330-3773 / FAX 027-321-7277

〔協力〕 公益財団法人日本美術院

日本美術院の 作家たち

橋本雅邦・横山大観・菱田春草

美術史家・岡倉天心は、西洋美術に比肩する日本美術の確立を目指して、明治31年(1898)に日本美術院を設立しました。創立会員である横山大観・下村観山・菱田春草らは、日本画の新しい表現方法の研究に取り組み、大正3年(1914)に再興された日本美術院は、速水御舟・奥村土牛・平山郁夫などの実力者を多数輩出します。作家たちは無窮の道を求めて切磋琢磨し、日本美術院展覧会(通称「院展」)では日本美術史に残る数々の名品が発表されました。

再興されてから間もなく110年を迎える日本美術院は、在野の美術団体として異例の歴史を誇ります。本展覧会では日本美術院で活躍した作家による作品を展覧し、美術院の歴史と近代日本画の系譜を辿ります。



1



2



3



4



5



6



関連事業

講演会「日本美術院の歴史」

【講師】佐藤道信(美術史家・東京藝術大学教授) 【日時】9月30日(土) 午後2時～
 【定員】50名(応募者多数の場合は抽選) 【会場】高崎タワー 21 集会室
 【申込方法】往復はがきに「住所・氏名・電話番号・希望人数(1枚につき2名様まで)」を記入し、下記宛にお送りください

〒370-0841 高崎市栄町3-23
 高崎市タワー美術館講演会係
 【締切】9月20日(当日消印有効)
 【お問合せ】TEL 027-330-3773

学芸員による作品解説会

9月16日(土)、10月14日(土)、
 10月29日(日)
 【時間】午後2時～
 【参加費】無料(要観覧料)



交通案内/JR 高崎駅東口より徒歩2分
 駐車場/上記6か所の駐車場をご利用ください。
 美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間の無料
 駐車券をお渡しいたします。



7

- 1 小茂田青樹《牽牛花》1924年 川越市立美術館蔵
- 2 菱田春草《梧桐ニ小禽》1909年頃 株式会社ヤマタネ蔵
- 3 下村観山《孤猿声》1907～11年頃 佐野市立吉澤記念美術館蔵
- 4 横山大観《朝陽映島》1939年頃 高崎市タワー美術館蔵
- 5 速水御舟《寒林》1925年 茨城県近代美術館蔵
- 6 《同人寄せ書き》1922年頃 公益財団法人日本美術院蔵
- 7 【院展作品集表紙絵】酒井三良《魚》1956年 公益財団法人日本美術院蔵

高崎市美術館展覧会のお知らせ

「井上八重子展 - 私の赤」
 2023年9月23日(土・祝)～10月29日(日)
 お問合せ: TEL 027-324-6125

Twitter @ Tower Muse



ホームページ



Twitter

高崎市タワー美術館

TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART
 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773